

魚津市公共施設再編に関する提言

・提言1

●対象

総合体育館、温水プールおよび吉田グラウンド・弓道場

○提言

既存の施設を廃止する。

跡地となる土地は、魚津市の市街地中心部にあり、市が能動的に活用できる広い土地という意味で貴重である。よって跡地利用の可能性は良く検討されるべきである。

ここでは、都市部からの移住を促すための、好環境の住宅地とすることを提言したい。

・提言2

●対象

温水プールおよび魚津市総合公園(ミラージュランド)

○提言

温水プールの再編を従来通り方針として持続するのであれば、ミラージュプールに統合する。全天候型・体育とレジャーの両対応が可能なプールとして再整備し、総合公園の市民プールとして運営することを提言する。

運営期間を夏期のみでなく通年化、市民優遇の料金制など、収益改善策を取り入れる。

・提言3

●対象

新川学びの森天神山交流館 宿泊棟 体育館

○提言

いかなる形でも、『宿泊機能の維持』が必要である。

現状はただ「宿泊棟、体育館を廃棄」となっているが、その先をどう考えるか？多角的視点から再考されたい。

今後の時代的なフェイズ

これから 20 年 (2020~2040)

- ・団塊世代が年齢 80~90 代に突入し、介護費をふくめた福祉の問題がふりかかる
- ・関東圏を中心に、過密、高齢化の都市部を嫌った若者層が地方に流出する
- ・道路、水道などのインフラ老朽化により、対応の可否で地域ごとのサービス格差があらわになる
- ・団塊の孫世代が家庭を作り、人口流動が起こる。

(仮説)

- ・高齢化が進み、かつ自家用車インフラに頼らざるを得ない町域は、子育て世代は流入しにくい。(人口が増えない)
- ・都市部から流出する若者は、都市と対極のイメージで居住地を選択する。田園風景や特有の歴史アイデンティティを感じる土地など
- ・公共事業として作られた幹線道路周辺に居住地が集約化され、古い集落等は、選択的に不便を許容する人しか住まなくなる。
- ・人口流動－地方においては都市からの流入、もと住んでいた人の流出が両方起きる。明確な人口戦略を持ち、実践している自治体は流出を抑え、流入を獲得して持続可能性を向上させる。ゼロサムゲームとして、これを怠った自治体は沈下する。

提言1について、補足

魚津、黒部、滑川の3市を比較した時、魚津市はなお「都市的」である。

それは、買い物環境などで優れる一方、中心部は住宅過密が進み、「都会と変わらない」のである。

よって都心からの移住者への訴求力は、田園風景が残る黒部、滑川が優れる。

魚津市が、戦略的に移住者の呼び込みを積極的にしていくのであれば、将来の魚津市のライフスタイルを象徴するような住宅地が中心部にあることは望ましい。

提言2について、補足

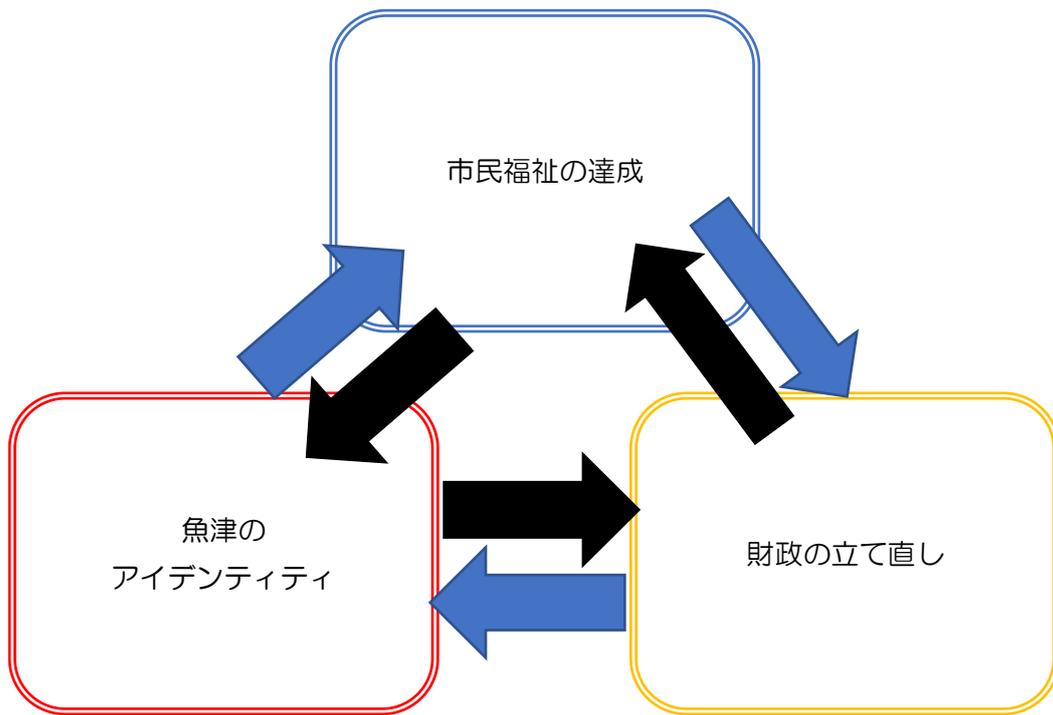
ミラージュランドおよびプール設備は経年しており、いずれ維持更新を検討する段階に至る。現状の財政を考えれば、将来的に廃止となる可能性も否めない。

おそらく、数字のみを見て機械的に考えれば、市民プールの再編維持は避けるべきである。しかし市民福祉の達成と、将来的に起こりうるミラージュランドの存続問題を考慮した場合、一括で解決するということはありえないか。

レジャーと体育の両方を実行できる施設はおそらく前例が少なく、設計提案を募れば、全国から注目を集めるかも知れない。

提言3について、補足

天神山交流館は音楽大学跡という設備の特色から、類似施設がない希少なものであり、営利運営を突き詰めていないため、ポテンシャルを発揮していないことがむしろ課題の本質である。



すべてを達成するには、行政は旧来の仕方、内部の論理に拘らず積極的に外部のノウハウを吸収、また民との連携を進めるべきである

魚津、滑川、黒部市内 人口が1000人以上の町の動向

■魚津

| | 吉島 | 本江 | 仏田 | 住吉 | 六郎丸 | 青島 | 友道 | 大光寺 | 大海寺野 | 江口 |
|-----|-------|-------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人口数 | 2,750 | 2,201 | 1,939 | 1,652 | 1,626 | 1,419 | 1,388 | 1,329 | 1,257 | 1,056 |
| 増減 | ▲ 64 | △ 187 | ▲ 137 | △ 398 | ▲ 138 | △ 4 | △ 104 | ▲ 302 | ▲ 23 | △ 150 |
| 増減率 | -2% | 9% | -7% | 32% | -8% | 0% | 8% | -19% | -2% | 17% |

■滑川

| | 上小泉 | 北野 | 柳原 | 下梅沢 |
|-----|-------|-------|--------------|-------|
| 人口数 | 3,654 | 1,550 | 1,494 | 1,161 |
| 増減 | △ 342 | △ 76 | △ 304 | △ 17 |
| 増減率 | 10% | 5% | 26% | 1% |

■黒部

| | 三日市 | 荻生 | 生地 | 石田 | 浦山 | 植木 | 若栗 | 前沢 | 堀切 | 下立 | 立野 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 人口数 | 4,824 | 3,328 | 2,878 | 1,991 | 1,678 | 1,328 | 1,312 | 1,255 | 1,160 | 1,095 | 1,057 |
| 増減 | ▲ 729 | △ 120 | ▲ 277 | ▲ 107 | ▲ 19 | △ 181 | ▲ 22 | ▲ 12 | ▲ 40 | ▲ 164 | △ 217 |
| 増減率 | -13% | 4% | -9% | -5% | -1% | 16% | -2% | -1% | -3% | -13% | 26% |

※国勢調査を元に作成。現在の人口は2015年国勢調査の数値。増減は2005年～2015年の10年間の変動値

H17~H27の間で、人口が増えた町丁目

総人口増数ランキング

| | | | |
|-----|----|-----|-------|
| 1位 | 魚津 | 住吉 | △ 398 |
| 2位 | 滑川 | 上小泉 | △ 342 |
| 3位 | 滑川 | 柳原 | △ 307 |
| 4位 | 黒部 | 中新 | △ 218 |
| 5位 | 黒部 | 立野 | △ 217 |
| 6位 | 黒部 | 田家新 | △ 188 |
| 7位 | 魚津 | 本江 | △ 187 |
| 8位 | 黒部 | 植木 | △ 181 |
| 9位 | 黒部 | 堂田 | △ 153 |
| 10位 | 魚津 | 江口 | △ 160 |
| 11位 | 滑川 | 中野島 | △ 122 |
| 12位 | 魚津 | 三田 | △ 120 |
| 13位 | 黒部 | 荻生 | △ 120 |
| 14位 | 魚津 | 友道 | △ 104 |
| 15位 | 黒部 | 浜石田 | △ 95 |

49歳以下増数ランキング

| | | | |
|-----|----|-----|-------|
| 1位 | 滑川 | 柳原 | △ 189 |
| 2位 | 黒部 | 立野 | △ 158 |
| 3位 | 魚津 | 住吉 | △ 145 |
| 4位 | 黒部 | 堂田 | △ 122 |
| 5位 | 滑川 | 上小泉 | △ 118 |
| 6位 | 黒部 | 田家新 | △ 116 |
| 7位 | 黒部 | 浜石田 | △ 101 |
| 8位 | 魚津 | 本江 | △ 95 |
| 9位 | 魚津 | 友道 | △ 87 |
| 10位 | 魚津 | 江口 | △ 74 |
| 11位 | 黒部 | 植木 | △ 74 |
| 12位 | 滑川 | 中野島 | △ 70 |
| 13位 | 滑川 | 二ツ碓 | △ 68 |
| 14位 | 魚津 | 三田 | △ 52 |
| 15位 | 魚津 | 観音堂 | △ 46 |

25~44歳女性増数ランキング

| | | | |
|-----|----|------|------|
| 1位 | 滑川 | 柳原 | △ 54 |
| 2位 | 黒部 | 立野 | △ 50 |
| 3位 | 魚津 | 住吉 | △ 37 |
| 4位 | 魚津 | 友道 | △ 34 |
| 5位 | 黒部 | 堂田 | △ 23 |
| 6位 | 黒部 | 浜石田 | △ 18 |
| 7位 | 滑川 | 加島町 | △ 18 |
| 8位 | 魚津 | 西尾崎 | △ 16 |
| 9位 | 滑川 | 田中新町 | △ 16 |
| 10位 | 滑川 | 二ツ碓 | △ 16 |
| 11位 | 魚津 | 観音堂 | △ 15 |
| 12位 | 魚津 | 北中 | △ 12 |
| 13位 | 滑川 | 中野島 | △ 12 |
| 14位 | 滑川 | 上島 | △ 12 |
| 15位 | 魚津 | 江口 | △ 11 |

6歳未満核家族増数ランキング

| | | | |
|-----|----|------|------|
| 1位 | 黒部 | 荻生 | △ 43 |
| 2位 | 黒部 | 立野 | △ 30 |
| 3位 | 滑川 | 柳原 | △ 28 |
| 4位 | 魚津 | 住吉 | △ 26 |
| 5位 | 黒部 | 田家新 | △ 21 |
| 6位 | 滑川 | 上島 | △ 19 |
| 7位 | 滑川 | 加島町 | △ 16 |
| 8位 | 滑川 | 田中新町 | △ 15 |
| 9位 | 魚津 | 友道 | △ 11 |
| 10位 | 滑川 | 中野島 | △ 11 |
| 11位 | 魚津 | 北中 | △ 9 |
| 12位 | 魚津 | 西尾崎 | △ 9 |
| 13位 | 黒部 | 浜石田 | △ 9 |
| 14位 | 魚津 | 観音堂 | △ 6 |
| 15位 | 魚津 | 本江 | △ 6 |

【若い世代に選ばれている町】

「総人口増数」 「49歳以下増数」 「25~44歳女性増数」 「6歳未満核家族増数」 いずれも10位内の町丁目

| | | |
|------|----|----|
| 総合1位 | 滑川 | 柳原 |
| 総合2位 | 黒部 | 立野 |
| 総合3位 | 魚津 | 住吉 |

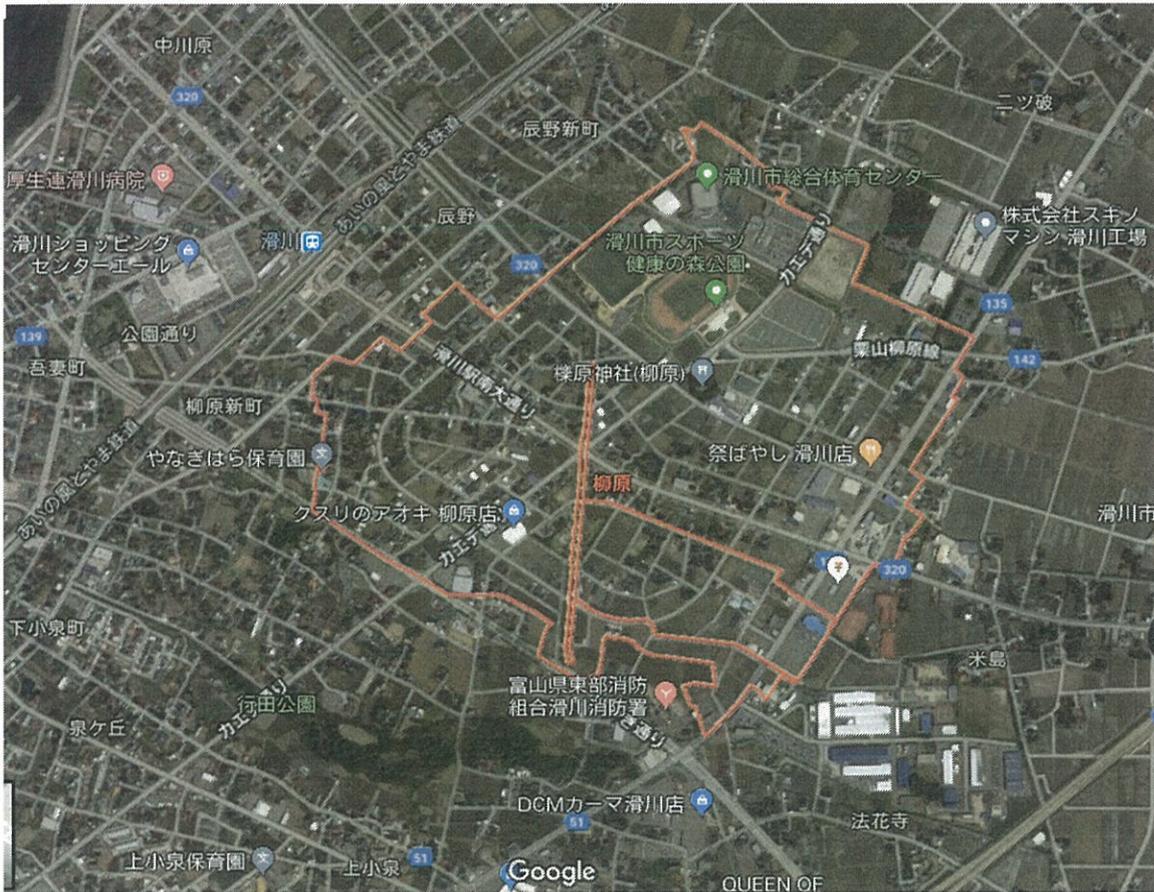
「総人口増数」 のぞく3指標とも10位以内の町丁目

| | | |
|----|----|-----|
| 次点 | 魚津 | 友道 |
| | 黒部 | 荻生 |
| | 黒部 | 田家新 |

【子連れまたは女性に選ばれている】

「25~44歳女性」 「6歳未満核家族」 10位以内の町丁目

| | | |
|------|----|------|
| 総合1位 | 黒部 | 荻生 |
| 同格 | 黒部 | 立野 |
| 同格 | 滑川 | 柳原 |
| 総合2位 | 魚津 | 住吉 |
| 同格 | 黒部 | 田家新 |
| 総合3位 | 魚津 | 友道 |
| 同格 | 滑川 | 加島町 |
| 同格 | 滑川 | 田中新町 |



好的な要因

- ・ 保育所、小学校、中学校が近い
- ・ スーパー等が近く、日常の買い物に困らない
- ・ 体育センター等福祉施設が近い
- ・ 健康の森公園、行田公園などに近く、緑視率が高い
- ・ 広い公園が近いため、子どもや老人が散歩や遊びをしやすい
- ・ 住宅が過密していない
- ・ 基幹駅に近い（滑川駅）
- ・ 総合病院に近い
- ・ 幹線道が入り込まず、支線を中心にまちづくりがされ、安全度が高い
- ・ 住宅地付近にビル、工場等が少なく、景観に優れる
- ・ 市役所は比較的近い

嫌的な要因

見当たらない。パーフェクト？

滑川市

柳原

| | (人) | (率) |
|-------------------------------------|-------|-------|
| H27人口 | 1,494 | |
| 市人口に占める% | | 4.6% |
| 高齢者/率 | 389 | 26.0% |
| 前期高齢者/率 | 209 | 14.0% |
| 後期高齢者/率 | 180 | 12.0% |
| 高齢者のみ世帯率 | | 15.8% |
| 15歳未満人口/率 | 198 | 13.3% |
| 働き手/被扶養比率 (15~74歳/14歳以下 & 75歳以上) | | 2.94 |
| 5年未満居住者/率 | 420 | 28.1% |
| 20年以上居住者/率 | 398 | 26.6% |
| 15歳以上従業者数 | 807 | |
| 町人口に占める% | | 54.0% |
| 市内従業者/率 | 346 | 42.9% |
| 市外従業者/率 | 454 | 56.3% |

| | | (増減) |
|--------------|--------|-------|
| 人口増減 | H17~22 | △ 200 |
| | H22~27 | △ 107 |
| 市内転入 | H17~22 | △ 155 |
| | H22~27 | △ 131 |
| 市外転入 | H17~22 | △ 206 |
| | H22~27 | △ 273 |
| (いずれもH17~27) | | |
| 0~49歳人口 | | △ 189 |
| 25~44歳女性数 | | △ 54 |
| 子育て世帯数 | | △ 28 |
| 世帯数 | | △ 162 |

【目立つデータの傾向】

- ・人口増は下降傾向にある
- ・4人に1人が65歳以上
- ・8人に1人が75歳以上
- ・世帯6つに1つは、高齢者のみ世帯
- ・高齢化は全国平均より軽い
- ・被扶養者1人に対応する働き手世代2.94人は平均的な負担におさまっている
- ・世帯数の増加に占める子育て世帯が17%とやや大きい
- ・増加人口に占める25~44歳女性が17%とやや大きい

【総評】

4方を駅、幹線道路、運動公園、緑地に囲まれ、小学校、中学校、保育園が揃い、病院や消防車が近く、買い物の利便性もある。完成された住宅街であることをうかがわせる。便の良い支線道路がめぐらされ、工場などの騒音施設も住域と切り分けてある。データから見える人口・世代バランスの良さも秀逸。